

NPOで  
武豊の地域福祉を進める取り組み



部署間の濃厚接触防止の対策をした事務所

新たな社会危機への挑戦！



新型コロナウイルス緊急対策包括支援金を活用し倉庫を相談室へ改修

2021年度

総会

【日時】2021年 5月22日(土) 10時00分 開会

【場所】ゆめじろう活動拠点

特定非営利活動法人 ゆめじろう

【音読】

特定非営利活動法人ゆめじろう趣旨書

平成14年8月29日

◆趣旨

「住み慣れたまちでふつうに暮らしたい。」ごく当たり前の願いでありながら、年を重ね介護を必要とするようになり、障害を有し生活に援助が必要になると、本人、家族の思いに反して、これまでの暮らしが続けられなくなってしまいます。そんな時、身近に安心して使えるサービス(援助)があれば、当たり前のこととして継続する事ができます。

日々の暮らしの中では、高齢者、障害者のみならず、出産、子育て、病気などふつうに生活していても誰かの援助を必要とすることがあります。

そんな時でも気軽に利用できるサービスであるためには、利用する者と提供する者の垣根が低くなければなりません。

「困った時はお互い様」を実現する手段として住民どうし、暮らしを分かち合う仕組みが必要です。

一方で、暮らしに特別な援助を必要とする人たちもいます。誰もが安心して利用できるサービスであるためには、専門的な知識と技術を備えたサービスであることが必要です。

私たちは、地域でのすこやかな育ち合いを大切にしながら、地域に根ざした安心できるサービスづくりに取り組んでいきたいと考えています。そのためには、一人でも多い住民の参加が必要となります。

誰からも見えやすい社会的存在とするため、ここに特定非営利活動法人ゆめじろうを設立します。



10年目  
H24. 4~

- 平成24年度
- 平成24年7月

ゆめじろう10周年記念事業の開催  
ゆめじろうくん作成



10周年記念イベント

11年目  
H25. 4~

- 平成25年度
- 平成25年4月
- 平成25年9月
- 平成26年2月

これまでの不足する福祉サービス作り中心の活動から転じ、行政・関係事業者・地域住民と協力して、持続可能な共生社会の実現へ向けた取り組みへシフト。  
こじろう新拠点で再スタート  
フードバンクプロジェクト@ちたに参加  
ゆめたろうスマイルマラソン参加者応援活動を実施  
重度障害者による自然公園パトロール活動開始



こじろう



スマイルマラソン応援団

12年目  
H26. 4~

- 平成26年度
- 平成26年11月

きのこプロジェクトスタート(武豊町提案型協働事業に自然公園一帯の活性化を行う事業)  
リフレッシュカフェ(地域福祉計画)に協力  
おとなりカフェ(地域福祉計画)をゆめじろう茶屋を会場に開催  
20代・30代スタッフのファシリテーション研修実施  
ゆめ市の開催



おと

13年目  
H27. 4~

- 平成27年度
- 平成27年11月
- 平成28年2月

ゆめじろう人材募集プロジェクト開始  
じろちゃんコロック 武豊町役場駐車場にて販売開始  
グループホーム(サンワコーポ)スタート



サンワコーポ

14年目  
H28. 4~

- 平成28年9月

ゆめじろう夏まつりを「龍宮まつり」として、野菜カフェYa~Yaと共同開催



龍宮まつり最後の盆踊

15年目  
H29. 4~

- 平成29年6月
- 平成29年9月
- 平成29年12月

地域生活支援拠点事業開始  
認知症カフェ(通称オレンジカフェ) 武豊福寿園と共同開始  
ゆめ市、Ya~Ya、おとなりカフェとの共同開催。

16年目  
H30. 4~

- 平成30年4月

たけのこプロジェクト(こどもの居場所づくりとしての子ども食堂)実施



17年目  
H31 (R1) 4~

- 令和元年7月
- 令和元年10月
- 令和 2年2月
- 令和 2年2月

グッドガバナンス認証 ベーシック評価取得  
団体ホームページリニューアル  
ゆめじろうBCP (事業継続計画)作成  
新型コロナウイルス感染拡大の兆し



18年目  
R2. 4~

- 令和 2年10月

新型コロナウイルス緊急対策包括支援金を活用して事務所倉庫を相談室へ



19年目  
R3. 4~

# 「ゆめじろう17年の歩み」

1年目  
H15.4~



初代ゆめじろう事務所

- 平成14年7月
- 平成15年1月
- 平成15年4月

設立総会  
特定非営利活動法人ゆめじろうの認証  
民家の2部屋を借りて事業スタート  
介護保険ケアマネ・ヘルパー、障害者ヘルパーの他自主事業で分かち合い、タイムケア、ゆめっこ、ゆめぞう、送迎ボランティア、福祉相談事業を始める

お披露目会で配った幟



初期の理事会風景

2年目  
H16.4~



2代目拠点 第1ゆめじろう

- 平成16年4月
- 平成16年度
- 平成17年2月

新拠点第1ゆめじろう開所  
高齢者サロン「やっとかめ」スタート  
知的障害者デイサービスを試行的に実施  
町民会館喫茶スペース「ゆめひろば」オープン



託児風景



ゆめぞうの子どもたち



やっとかめ風景

3年目  
H17.4~



3代目拠点 第2ゆめじろう

- 平成17年4月
- 平成17年7月
- 平成17年8月
- 平成17年12月

武豊町長立候補者公開討論会実施  
行動援護(障害の重い人へのヘルパー事業)を他に先がけて開始  
新活動拠点第2ゆめじろう(ジロムーチョ)開所と同時に知的障害者デイサービス事業「ひるじろう」開始  
ゆめたろう福祉フォーラム「町内福祉サービスバスツアー実施」  
武豊町福祉ガイドブック作成



ゆめひろば



手作り看板

4年目  
H18.4~

- 平成18年10月
- 平成19年度

障害者の相談支援事業開始(武豊町・美浜町・南知多町より事業委託)  
武豊町地域包括支援センターへスタッフの出向  
新たな前進へ向けての充電

5年目  
H19.4~

- 平成20年7月

放課後活動スペース「こじろう」(障害のある子どもたちの放課後と長期休暇の活動)スタート



コロケ作り

6年目  
H20.4~

- 平成20年10月

コロケ制作を試験的に始める



こじろうの子どもたち

7年目  
H21.4~



大改修後のジロムーチョ

- 平成21年度
- 平成21年9月
- 平成22年4月

ゆめじろう活動拠点第2ゆめじろう(ジロムーチョ)の大改修  
第1回夏まつり開催  
改修された新拠点にて、ひるじろう・こじろうは障害者自立支援法に基づく事業へ移行し、再スタート。



第1回夏まつり

8年目  
H22.4~

- 平成23年3月

コロケカー導入



喫茶営業もできるコロケ



ひるじろう天草作業



こじろういも掘り

9年目  
H23.4~



ゆめじろう茶屋

- 平成23年度

ゆめじろう茶屋を活用したサロン活動実施  
こじろうサロン(障害のある子を持つ家族のサロン)を開催

## 総会 議事次第

### 1. 開会の辞

### 2. 議長・書記・議事録署名人の選任

- ①議長選任及び議長挨拶
- ②書記、議事録署名人の選任

### 3. 代表挨拶

### 4. 議案説明と審議

- 第1号議案 2020年度事業報告(案) .....P 5
- 第2号議案 2020年度決算報告(案) .....P22
- 第3号議案 2020年度事業計画(案) .....P29
- 第4号議案 2020年度予算(案) .....P34

### 6. 議長の解任および閉会の辞

事業概略

2020年度

2020年度は世界的規模で広がった新型コロナウイルス感染症に翻弄された年でした。ゆめじろうでもすべての事業を計画通りに実施できず、BCPによる事業の優先順位に基づいた事業の実施を余儀なくされました。

そんな中でも優先順位の高い事業として、生活の生命線を支えるヘルパー事業やケアマネ、相談事業、活動の場としての生活介護、就労継続支援事業などを優先して実施することになりました。一方で、暮らしを豊かにする移動支援事業やサロン、月言カレー、ゆめ市、キノコプロジェクトのイベント、スマイルマラソンの応援などは不要不急の外出を控えるというルールの中で中止をしたり、キャンセルをするという形で制限がされました。感染症対策を迷いながらも行っていくことで、1年間事業所内でクラスターやご利用者、スタッフの中から感染者を出すことなく何とか乗り切ることができました。しかし、全国で2000か所ほどの介護施設でクラスターが発生し、決して少なくない方々がなくなっている現状をしっかりと受けとめ、なお一層気持ちを引き締めていきたいと思えます。

一方、この国の未来を考えると、お金で福祉制度を支える限界が見えてきています。国もそれを認めて、福祉事業の大規模集約化で効率化とコスト削減をしようとしています。また、その一方で市民のつながりによる支え合いの構築を大きく打ち出しています。コロナ禍で強く感じたことでもありますが、つながる力の弱い当事者への支援の問題は型にはまった福祉制度では解決できないということです。ゆめじろうが、BCPで優先順位の後回しにした事業のほとんどは、これらの問題をターゲットにした活動です。

さて、これからのゆめじろうの進むべき道を考えると、大規模化や専門特化による事業の安定性を選ぶのか、地域の中でさらなる協力者や理解者を増やしながら市民性を重んじた活動の展開を行っていきか悩むところです。

コロナウイルス感染症により、私たちは生活や行動の変化を強いられました。それにより大きなストレスだけでなく、今までは考えもしなかった新たな気づきもたらしました。環境への順応のなかでうまれた進化です。

名だたる識者たちは、「拡大発展の時代は終わりを告げた」と口をそろえて言います。新たな価値観に基づいた進化が出来るかが国民全員に求められています。

研修費	195,768	700,000		
食材費	998,778	920,000		
保守料	1,433,671	940,000		
寄付金	0	0		
診療費	240,000	240,000		
雑費	0	0		
減価償却費	1,506,612	1,500,000		
その他経費計	<b>32,920,965</b>	<b>33,723,200</b>		
事業費計			163,623,200	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	2,462,996	2,500,000		
福利厚生費	3,043	0		
人件費計	<b>2,466,039</b>	<b>2,500,000</b>		
(2) その他経費				
広告宣伝費	162,360	200,000		
旅費交通費	56,490	70,000		
接待交際費	4,500	50,000		
備品消耗品費	213,312	200,000		
通信費	96,816	100,000		
水道光熱費	90,515	100,000		
消耗品費	18,980	50,000		
書籍費	7,330	10,000		
賃借料	0	0		
修繕費	266,511	100,000		
保険料	696,280	700,000		
支払手数料	378,235	310,000		
顧問料	528,000	528,000		
諸会費	104,900	104,900		
研修費	201,504	60,000		
保守料	168,000	168,000		
寄付金	5,500	10,000		
警備費	482,640	500,000		
雑費	342	1,000		
減価償却費	92,851	95,000		
その他経費計	<b>3,575,066</b>	<b>3,356,900</b>		
管理費計	<b>6,041,105</b>		5,856,900	
経常費用計	<b>168,656,020</b>			169,480,100
税引前当期正味財産増減額	<b>△ 1,379,150</b>			71,000
法人税、住民税及び事業税	71,000			71,000
当期正味財産増減額	<b>△ 1,450,150</b>			0
前期繰越正味財産額	<b>58,404,190</b>			56,954,190
次期繰越正味財産額	<b>56,954,040</b>			56,954,190

法人名: ゆめじろう

## 令和3年度 予算書

2021年4月1日 ~ 2022年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	2020年実績	2021年度予算金額	
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費 受取会費	730,000	750,000	750,000
2. 受取寄付金 受取寄付金	465,002	500,000	500,000
3. 受取助成金等 受取助成金	4,291,751	300,000	300,000
4. 事業収益 自主事業収益	161,577,947	168,000,000	168,000,000
5. その他収益 受取利息	138	100	
雑収入	212,032	1,000	1,100
<b>経常収益計</b>	<b>167,276,870</b>		<b>169,551,100</b>
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	111,795,058	112,000,000	
法定福利費	15,161,119	15,100,000	
福利厚生費	2,710,773	2,800,000	
<b>人件費計</b>	<b>129,666,950</b>	<b>129,900,000</b>	
(2) その他経費			
食材仕入	3,191,273	3,200,000	
役務費	1,755,960	1,800,000	
広告宣伝費	0	10,000	
旅費交通費	2,501,705	2,597,000	
接待交際費	11,000	10,000	
備品消耗品費	720,456	700,000	
通信費	1,136,152	1,163,200	
水道光熱費	2,885,636	2,854,000	
租税公課	101,800	210,000	
消耗品費	4,638,202	4,700,000	
書籍費	93,420	135,000	
賃借料	9,320,388	9,500,000	
修繕費	48,690	700,000	
保険料	1,616,235	1,650,000	
支払手数料	518,419	165,000	
諸会費	6,800	29,000	

# 2020年度事業報告





**実り** 地域生活支援拠点事業  
実施事業所

**実り** ショートステイ（短期  
入所）

10年～

地域にショートステイ事業所や  
地域生活支援拠点事業所が増える。  
一つ一つの事業所が緊急時の対  
応力や支援力を付けている。

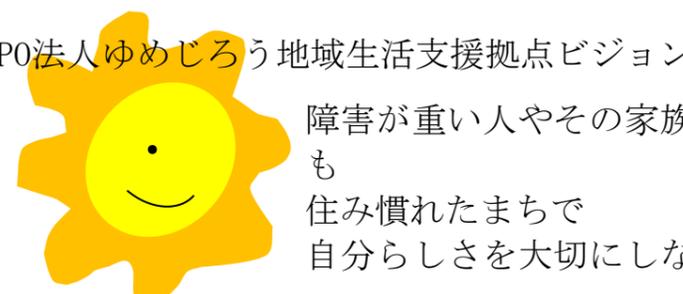
1～3年

地域で自主的な専門研修が実  
施され、スタッフが必要な支  
援知識を身に付ける。  
緊急ケースや困難ケースにつ  
いて相談、WG支援チームが中  
心となり協力して支援を行  
う。  
経験を増やし、実施ノ－ハウ  
を発信する。

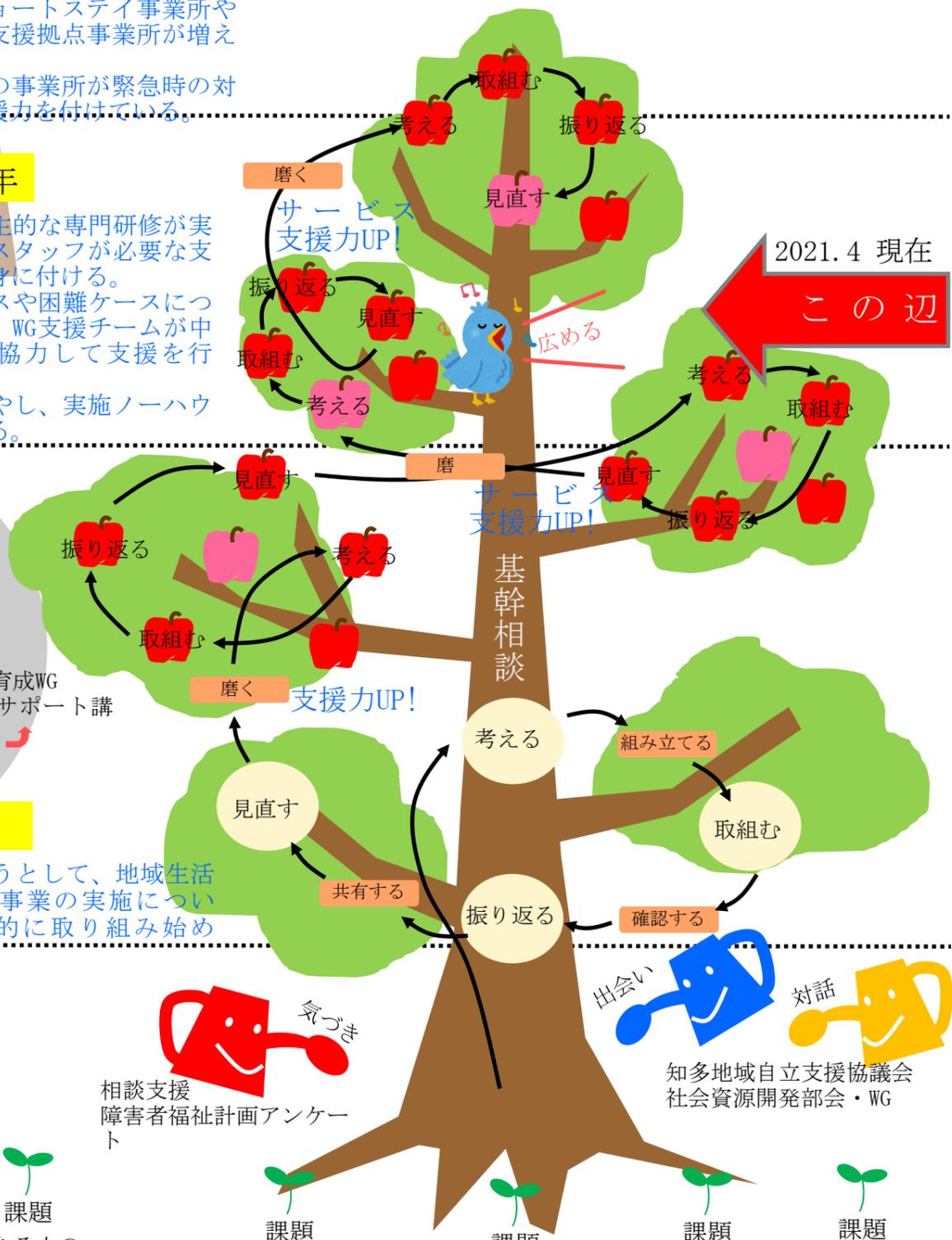
～1年

ゆめじろうとして、地域生活  
支援拠点事業の実施につ  
いて、積極的に取り組み始め

- 課題 障害のある人の  
ショートステイが近く
- 課題 行動障害のある人は  
ショートステイが  
なかなか利用できな  
い
- 課題 親亡き後の  
準備が進んでい  
ない
- 課題 緊急時に  
宿泊対応でき  
る
- 課題 将来に向けて  
宿泊体験をす  
る



障害が重い人やその家族  
も  
住み慣れたまちで  
自分らしさを大切にしな



専門人材育成WG  
発達支援サポート講  
参加

相談支援  
障害者福祉計画アンケー  
ト

知多地域自立支援協議会  
社会資源開発部会・WG

③相談ケアマネジメント事業

ゆめじろう居宅介護支援事業所

(介護保険居宅介護支援事業)

**活動の想い**  
見慣れた風景や環境の  
中、その人らしい暮らしが  
できることを応援してい  
きたい

**対象**  
町内在住(近隣町を含む)  
高齢者と家族

**直接(～1か月)の結果**  
生活や介護に関する困り  
ごとや、暮らしにくさに対  
して、サービスの利用や  
暮らし方について相談で  
きる。

**短期(～3か月)の成果**  
問題解決のための取り組  
みや、サービス利用が始  
まる。相談内容に合った機  
関との関係づくりが始まる。

**中期(～1年)の成果**  
問題解決のための取り組  
みや、サービス利用が始  
まる。相談内容に合った機  
関とつながっている。

**長期(～3年)の成果**  
自分らしい生活が支援を  
受けながら継続し、ひとり  
ではないと感じながら生  
活ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続けられる。



地域包括支援センター等他機関との連携を密に行いました。  
●83人/月平均 延べ996人/年間(居宅介護支援658人、予防222人、総合145人)  
【担当責任者】 西川百合  
【活動概要】  
介護を必要とする方が、自宅で適切に介護保険サービス利用ができるように、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に寄り添い、その人らしい生活ができるようにケアプランの作成やサービス調整を行います。暮らしにくさなどの相談の場合には、介護保険制度や他機関の案内や提案を行っています。

【2020年度活動目標】  
他機関の機能を理解し連携に努め、迅速に必要な窓口につながることで、ゆめじろうへつながる人達が安心して暮らしができるように支援できるようスキルアップを目指す。また、ケース検討会を通してさまざまな制度理解を深め、「断らない相談窓口」としての機能充実を図っていく。実績確保のためにも「断らない」ことを前提に積極的に受け入れ、件数増加・増収を目指していく。

【活動内容・得られた成果】  
施設入所や転居などの対応、ターミナルの方の担当が多い印象の一年となった。一定数の新規受け入れがあり、年明けより半田居宅からの受け入れを行い、町内サービスのみに限らず、他市町のサービス事業所との関わりも新たにもてるようになったと同時に、増収にもつながった。入院時の情報提供や退院時の病院との連携など、きめ細やかな対応による加算の取得なども増収につながり、スムーズな在宅生活への移行の支援も大切にしてきました。引き続き必要な時に必要な支援が届けられるように努めていきたいと思ひます。

「押し」つながる人達が安心して暮らし続けるお手伝いをしています！

# ゆめじろう相談支援事業所

(障害者総合支援法)知多南部相談支援センター(委託)、一般相談支援事業、特定相談支援事業、(児童福祉法)障害児相談支援事業



コロナ禍でも地域課題解決へ向けての取り組みを止めない!

**活動の想い**  
障害のある人と家族が安心して暮らせる社会や地域を作りたい!

**対象**  
武豊町・美浜町・南知多町  
在住の障害者と家族

**活動内容**  
障害児・者の生活・サービスに関する相談援助。  
協議会の運営。

**直接の結果(～1か月)**  
相談を行い、必要な情報が得られたり、サービス利用が始まる。

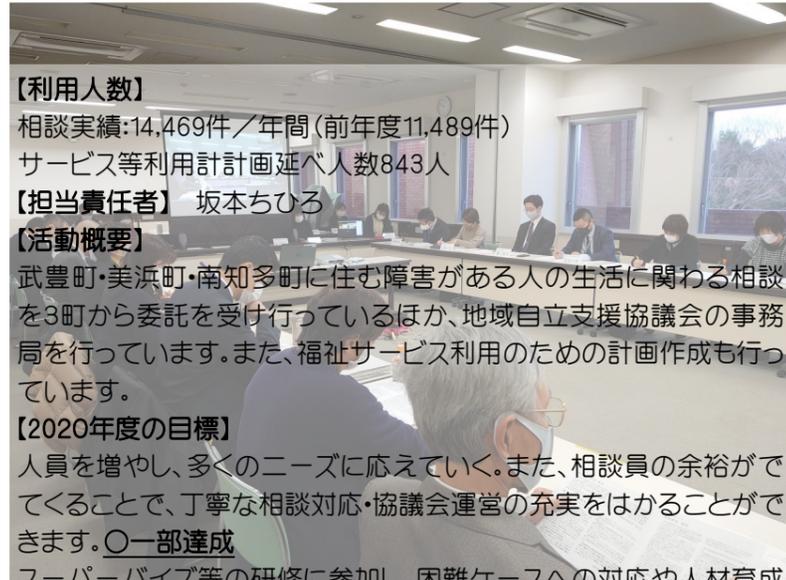
**短期の成果(～3か月)**  
必要に応じ相談ができ、生活が安定しはじめる。

**中期期の成果(～1年)**  
新たな課題が出てきても、相談することで安心できる。

**長期(～3年)の成果**  
住民の障害理解が深まり、サービス以外の資源を活用しながら自分らしい生活ができる。

**ゆめじろうのミッション**  
住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。

コロナ禍での知多南部自立支援協議会の様子



**【利用人数】**  
相談実績:14,469件/年間(前年度11,489件)  
サービス等利用計画延べ人数843人

**【担当責任者】** 坂本ちひろ

**【活動概要】**  
武豊町・美浜町・南知多町に住む障害がある人の生活に関わる相談を3町から委託を受け行っているほか、地域自立支援協議会の事務局を行っています。また、福祉サービス利用のための計画作成も行っていきます。

**【2020年度の目標】**  
人員を増やし、多くのニーズに応じていく。また、相談員の余裕がでてくることで、丁寧な相談対応・協議会運営の充実をはかることができます。○一部達成

スーパーバイズ等の研修に参加し、困難ケースへの対応や人材育成に注力できる力をつけ、地域の社会資源開発にも力をいれていく。

**△引き続きの課題**

**【活動実績・得られた成果】**  
正規職員が1名増員。12月～は時短職員の更なる増員をすることができました。また、セルフプラン対応者を計画に移行していくことができました。増員スタッフへの同行支援を丁寧に実施し、モニタリングを増やすことができ、結果として個々のケースに丁寧に対応することができました。一方で、困難ケースへの対応は難しく、解決の糸口を見つけることができず相談の力量と地域資源の不足が明らかになりました。個々の相談員のスキルアップとフォロー体制をどう確保していくか課題が残りました。

コロナ禍で、外部研修が少ない中オンライン研修もあり参加することができました。参加のしやすさのある一方、音声の途切れ等ウェブ環境の問題も今後改善が必要。

南部3町との基幹相談支援センター設置検討会に参加し、令和3年度1月の開始へむけ準備を進めている。今後は事業所外の困難ケースへの支援体制確保が必要。

協議会については、コロナ禍で、サロン・研修など開催ができなかったところもあるが、オンライン会議への切り替え等工夫を実施できた。コロナ禍でも地域づくりを止めない工夫が必要。

⑩短期介護事業			
地域生活支援拠点 ①緊急一時的宿泊 ②体験的宿泊	宿泊を伴う介助・介護(外出、入浴、排泄、食事等を含む)を実施する。①については～2泊3日 ②については1泊2日とする。	町内または近隣市町の障害者(主にゆめじろう通所サービス利用者)	グループホームひるじろうこじろう等法人事業所
【目標】体験宿泊について、レスパイト目的での利用ができない現状の中、重度の方を十分に支えるショートステイも武豊町にないため、体験宿泊の在り方を南部3町と協議会を通じて検討していく。また、感染症などが広がってきた際には、ご利用者様の安全を最優先し利用の制限も検討し実施していく。緊急時は予測できないことだが、利用者・家族に安心して使っていただけるよう、継続的に受け入れ体制を整えていくとともに相談及び訪問サービスとも連携して実施していく。			
⑪障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律に基づく障害者福祉サービス事業			
共同生活援助	障害者に対し小人数で生活するための住居と必要な支援を提供する。	町内または近隣市町の障害者	ゆめじろうグループホーム
【目標】8名の利用者の毎日の生活をしっかり支えるため、日々の業務の中でアセスメントを行うことを怠らないことと、利用者本人のご希望や、ご家族の体調・高齢化にも鑑み、必要な部分では土日祝日の利用日数の見直しを行います。			
⑫介護保険法に基づく事業 居宅介護支援事業、訪問介護事業			
⑬相談支援ケアマネジメント事業、⑭ホームヘルプ事業参照			
⑬児童福祉法に基づく事業 放課後等デイサービス			
⑮デイサービス事業参照			
⑭生活援助体制整備事業			
生活支援コーディネート事業	総合事業における地域課題の把握や地域に必要な資源開発などの提案を行う。	地域住民	
【目標】 0から100歳の地域包括ケアの推進に向けて自主事業を通して地域住民とのつながりを深める。			

<b>⑦次世代育成事業</b>			
○子育て相談:相談は、場面の設定は行わず事務所で必要に応じて対応を行ってきます。託児等については、分かち合い事業の中で必要に応じて対応していきます。 ○たけのこプロジェクトにおいて「月々カレー」を通じて安心できる居場所を確保するとともに支援の必要な児童と確実につながりをつくっていくこと目指します。			
<b>⑧高齢者・障害者等に対する社会参加促進等事業</b>			
【自主】ゆめたろうプラザ 喫茶「ゆめひろば」	武豊町民会館ゆめたろうプラザ喫茶スペースにおいてワンデイシェフ方式により喫茶の運営を行う。	町民他会館利用者	ゆめたろうプラザ
【目標】引き続きコロナウイルス感染症の状況を見極めつつ安全な運営に心がけます。			
ひるじろう(就労継続支援B)	町内及び近隣障害者に対し日中の活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現を支援する。	主に町内障害者	ゆめじろう活動拠点他
【目標】①利用者増に向けて⇒定員に余裕があることを各種相談及び特別支援学校へ周知する。(チラシの作成と関係機関回り) ②長く務めたスタッフが抜けたことによる業務の支障が出ないように、点検と業務の再編成を行う。 ③一時停止している役場での販売と武豊歯科に代わる販売場所の開拓。 ④季節商品の開発			
【自主】フリースペース事業 ○ゆめじろう茶屋 ○やととかめ ○織りあそび ○おしゃべりランチ ○介護予防サロン ○オレンジカフェ(認知症の相談など)	ゆめじろう事務所フリースペースやゆめじろう茶屋を利用し、住民交流を目的とした活動を行う。	町内、高齢者、障害者、子どもを含む町民	ゆめじろう、ゆめじろう茶屋等
【目標】コロナウイルス感染症の蔓延状況を見極めつつ、人とつながることの難しい人々への支援の在り方について模索していく。			
<b>⑨地域福祉啓発・研修事業</b>			
○龍宮まつり ○ゆめじろうくんコロッケカーの出勤! ○ゆめたろうスマイルマラソン ○サービ斯拉ーニング ○フードバンク@ちた ○きのこプロジェクト ○たけのこプロジェクト ○ゆめにてい	地域住民に対し高齢者福祉・障害者福祉・次世代育成・まちづくり等に関する参加協力、情報発信、イベント・講座・講演会等を実施する。また、町の福祉計画、総合計画等の策定に協力をする。	地域住民	町内各所
【目標】全事業において、コロナ禍においても実施できる方法やそれに代わる活動を模索しつつ、社会状況が停滞することのないよう考えながら活動をしていく。			

## ④ホームヘルプ事業

### ゆめじろう訪問介護事業所

(介護保険訪問介護事業、介護予防訪問介護事業)

**活動の想い**  
住み慣れた町で暮らし続けることを応援したい!

**対象**  
町内在住高齢者

**活動内容**  
介護保険サービスとして高齢者の生活を支えるための訪問支援。

**直接(～1ヶ月)の結果**  
ヘルパーが家庭に入り生活の援助を始める。新たな困りごとや課題が明らかになる。

**短期(～3か月)の成果**  
ヘルパーの援助を受けながら生活をする。

**中期(～1年)の成果**  
出来ることは自分で、出来ないことはヘルパーと一緒にしながら生活の質が向上する。

**長期(～3年)の成果**  
自分らしい生活がヘルパーの援助を受けながら継続し、生きがいや目標が見つかる。

#### ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



お互いにマスクをつけてのお付き合い!

【担当責任者】 尾溝悠輔

#### 【事業概要】

利用者さんの日常生活をお手伝いさせていただいています。住み慣れた自分の家(地域)で過ごしたいという利用者さんに寄り添い、生きていて良かったと思ってもらえる支援を心がけています。

#### 【2020年度の目標】

新規(身体介護など)や訪問Aの受け入れに対して、今まで以上に質・内容を充実させるために、研修会への参加を積極的に行っていく。○一部達成  
他機関(訪問リハビリ事業所・訪問介護事業所)などへの連携も今まで以上に行っていく。◎達成!

#### 【活動実績・得られた成果】

訪問Aの実績と収入については去年度から大きな変更なく実施できた。介護については、入院や入所・亡くなった方もいたことから減少してしまった。今年度から取り組み始めたケアマネジャーに新規のご利用者様の依頼募集を行ったことにより、訪問型独自サービスの依頼が多く来た(中には介護の方もいた)。訪問型独自サービスについては、昨年度に比べ208.3時間(予定)増加。介護については352(予定)時間減少した。  
新型コロナのため、研修会に出向くことが積極的にできなかった。また、会議等の機会も減ったが、その分他事業所の方への連絡(電話など)を密に行うことにより、サービス低下について克服できた。ヘルパー一人一人が、現場において瞬時に判断することができるようになり、その場で訪問看護事業所に連絡を取り指示を得るなど質においても意識においても向上した。



「押し」  
安心できる関係づくりは日々の積み重ねから!

# ゆめじろう居宅介護等事業所

(障害者総合支援法居宅介護等事業)



行動障害の方へも対応できる町内唯一の事業所です！

**活動の想い**  
障害のある人の社会参加や挑戦を寄り添って応援したい！

**対象**  
町内在住(近隣町を含む)障害者

**活動内容**  
自宅へヘルパーが訪問し、障害児・者の地域での生活を支えると同時に生活課題を明確にして課題解決のための支援を行う。

**直接の結果**  
ヘルパーが家庭で生活の支援をしたり、社会参加支援を始める。

**短期(～3か月)の成果**  
ヘルパーが家庭で、日々の生活支援に加え、課題解決のための支援を受け始める。

**中期(～1年)の成果**  
継続した支援を受け続けていける。ヘルパーの支援を受けながら課題解決力・生活力が付く。

**長期(～3年)の成果**  
自ら課題解決に向かっていく力が付く。また、必要とする支援を発信できるようになる。

**ゆめじろうのミッション**

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【**根拠事業**】居宅介護等事業、行動援護、移動支援

【**担当責任者**】 尾溝悠輔

【**活動概要**】

個人のニーズに合わせ、マンツーマン対応で障害のある方の日常生活・余暇活動を支援しています。

【**2020年度活動目標**】

現在利用していただいている利用者様の支援内容・時間などの見直しを行い、支援の質の向上を目標とする。○概ね達成  
行動障害のある方への派遣数の増加。◎達成！

【**活動内容・得られた成果**】

延べ634人/年間 延べ2733回/年間 延べ4809時間/年間  
移動支援は、新型コロナウイルス感染症への不安や、2度の緊急事態宣言により、時間短縮、キャンセルが相次いだため減少しています。一方、居宅介護、行動援護についてはヘルパーの数が増えたこと、移動支援のキャンセルになった分を当てることにより、入浴介助や行動障害のある方への派遣数を増やすことができました。

新型コロナウイルスにより、場所や公共交通機関の制限があり、これまで行わなかった活動を行う機会も多くあり、支援の幅を広げることができました。また、人員が増えたことで、行動障害のある方への派遣数は1年を通して増加しています。

<b>④ホームヘルプ事業</b>			
訪問介護事業	介護の必要な高齢者に対する身体介護及び生活援助	町内又は近隣市町村高齢者・障害者	利用者宅他近隣市町村各所
訪問型独自サービス	支援の必要な高齢者に対する生活援助		
訪問型サービスA	支援の必要な高齢者に対する生活援助		
障害者居宅介護	介護の必要な障害者に対する日常生活支援		
行動援護	自閉症等行動障害を伴う障害児者に対する移動及び日常生活支援		
重度訪問介護	生活に常時介護を必要とする全身性障害者への様々な介護・介助		
移動支援事業(市町村事業)	障害児者に対する外出支援		
【 <b>目標</b> 】 高齢者部門:新規受け入れを継続して行い、連絡、連携を時代の流れに合わせた方法で柔軟に行っていきます。 障害者部門:・内容や時間の見直しによる支援の質の統一と向上。・行動障害のある方への派遣数の更なる増加。			
<b>⑤デイサービス事業</b>			
ひるじろう(生活介護)	町内及び近隣障害者に対し日中のつどいの場・活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現を支援する。	主に町内障害者	ゆめじろう活動拠点他
こじろう(放課後等デイサービス)	町内及び近隣の学齢の障害児に対し、放課後や長期休暇を安全に楽しく過ごすための場を提供し、地域で生活していくための自立支援及び発達支援を行います。	主に町内障害児者	こじろう拠点
【 <b>目標</b> 】 ひるじろう:引き続き多様なニーズに対応できるよう一人一人の強みを引き出し活かせる活動の創出をおこなう。高齢化する家族負担の軽減のため祝日や大型休の中日での開催なども行っていく。地域生活支援拠点としての役割を担っていく。 こじろう:安定した活動運営ができるように人材の確保を目指す。またはゆめじろうとして組織の再編も考えなくてはならない時期に来ていると思われるので、理事会、部門会議等で話し合っていく。 ・引き続き将来を見据えた活動の取り組み ・こじろうを知ってもらうため地域の社会資源の活用。			
<b>⑥福祉移送ボランティア事業</b>			
【 <b>自主</b> 】福祉運送(無料)	町内及び近隣市町村高齢者・障害者等移動制約者に対しやむを得ない場合に限りゆめじろうの車等で移送を行う。	移動制約者(他に方法が無い場合に限定)	町内及び近隣市町
【 <b>目標</b> 】緊急時にも対応できる支援体制を確保していきます。			

# 令和3年度 特定非営利活動法人ゆめじろう事業計画

事業名	事業内容	対象者	実施場所等
<b>(1) 特定非営利活動に係る事業</b>			
<b>① 福祉相談事業</b>			
【自主】困りごと相談	ゆめじろう全事業を通じて暮らしの中の困りごとについて必要な相談を行うとともに、必要に応じ関係機関への橋渡しを行います。		
<b>② 高齢者・障害者等に対する地域生活支援サービス事業</b>			
【自主】タイムケア事業 (介護保険、総合支援法給付対象者)	様々な理由で介助や介護・家事援助等(公的サービスでは対応できない内容について)を必要とした時にゆめじろう事務所、利用者の自宅、町内各所にて短時間の介助・介護をスタッフが行う。	町内又は近隣市町村在住の障害者・高齢者・児童及びその家族他生活困窮者	ゆめじろう事務所若しくは利用者宅、町内各所等
【自主】分かち合いサービス事業	介護以外の生活上のお手伝いを会員(協力)が有料で実施する。		
【目標】今後の住民互助型サービスのニーズ拡大を踏まえ、相談を踏まえ必要な住民互助型の支援の在り方について検討していきます。			
<b>③ 相談支援ケアマネジメント事業</b>			
ゆめじろう居宅介護支援事業 (高齢者)	介護保険制度における居宅介護支援事業	町内又は近隣市町村高齢者及びその家族	ゆめじろう事務所、依頼者宅、町内各所、電話等
ゆめじろう相談支援事業所(障害児者) 一般相談支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業	障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援事業を利用者の自主性・中立性・関係機関との連携を十分に確保しつつ実施する。	圏域(知多南部3町)障害児者及びその家族	
【目標】 <b>高齢者:</b> 他機関の機能を理解し連携に努め、迅速に必要な窓口につなぐことができることで、ゆめじろうへつながる人達が安心して暮らしができるように支援できるようスキルアップを目指す。また、ケース検討会を通してさまざまな制度理解を深め、「断らない相談窓口」としての機能充実を図っていく。実績確保のためにも「断らない」ことを前提に積極的に受け入れ、件数増加・増収を目指していく。 <b>障害者:</b> 人員を確保し、丁寧な人材育成をしっかりと行いながら、基幹相談支援センターの開設に向けて準備を行っていく。協議会を基本に地域づくりにも尽力して、福祉サービスに頼らない支援体制を確保していく。			

## ⑤ デイサービス事業

### ひるじろう(生活介護)

#### 活動の想い

どんなに重い障害があっても、その人らしい自己実現ができる活動や居場所が必要だ!

#### 対象

町内在住(近隣町を含む)の重度障害者

#### 活動内容

重度障害者に対し、それぞれの能力や意向に応じた日中の活動と居場所の提供を行う。

#### 直接の結果

送迎等の支援を受けながら自分のペースでひるじろうに通い、活動に参加する。家族以外の人とのかかわりが始まる

#### 短期(〜3か月)の成果

活動に参加するうちに自分の強み弱みが分かってくる。得意な活動にはやりがいもてるようになる。

#### 中期(〜1年)の成果

得意な活動に磨きをかけ、やりがいを持って取り組めるだけでなく、息抜きもできるようになる。

#### 長期(〜3年)の成果

やりがいをもって行える活動を共に行う仲間ができる。ひるじろうが大切な居場所となる。

#### ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続けられる。



利用者ごとに配慮した活動スペース

【利用定員】 10人 平均利用人数 8.8人/日

【担当責任者】 出口 晋

#### 【活動概要】

町内及び近隣障害者に対し日中のつどいの場・活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現を支援する。

#### 【2020年度活動目標】

多様なニーズにしっかりと対応できるよう、一人一人の強みを引き出し活かせる活動の創出を行う。◎達成!  
また、家族の介護負担減少のため休日が4日以上続かないよう祝日の開催を引き続き行っていく。◎達成!  
地域生活支援拠点については、定期的の実施し、緊急時にも安心して利用いただけるよう体制を整えていく。○一部達成

#### 【活動内容・得られた成果】

これまで午後よりヤモリの家にて活動していたグループが、ひるじろう内で活動できるようになったことに合わせてコミュニケーション支援のための活動(PECS)を行い一定の成果が得られました。また、活動へのモチベーションとして好子(お菓子)の活用を広く行いました。

行動障害のある人やそれ以外の人と同じ空間で安心して活動できるよう、個別スペースのリメイクを行いました。

一人一人に合った活動創出の一環として、漢字学習やスキャン作業を新たに始めました。休日の数が増える中で、スタッフの働き方を工夫し、サービスの連続休暇が4日以上にならないよう休日の開催を行うことができました。地域生活支援拠点として、体験的宿泊を4日実施しました。



行動障害のある人が安心して通える事業所です!

「押し」  
チキンカツが空前の大ヒット!

# ひるじろう (就労継続支援B型)

**活動の想い**  
障害のある人の「仕事がしたい」「社会の役に立ちたい」という思いを応援したい!

**対象**  
町内在住(近隣町を含む)の仕事をしたい障害者。仕事ができる可能性があるのに十分に力を発揮できていない障害者。

**活動内容**  
障害者に対し、仕事を通じて社会参加・社会貢献をする場の提供を行うと共に、それに対し工賃を支払う。

**直接の結果**  
ひるじろうへ通い、コロッケ作り・販売、整備事業など自分に合った仕事に取り組む。

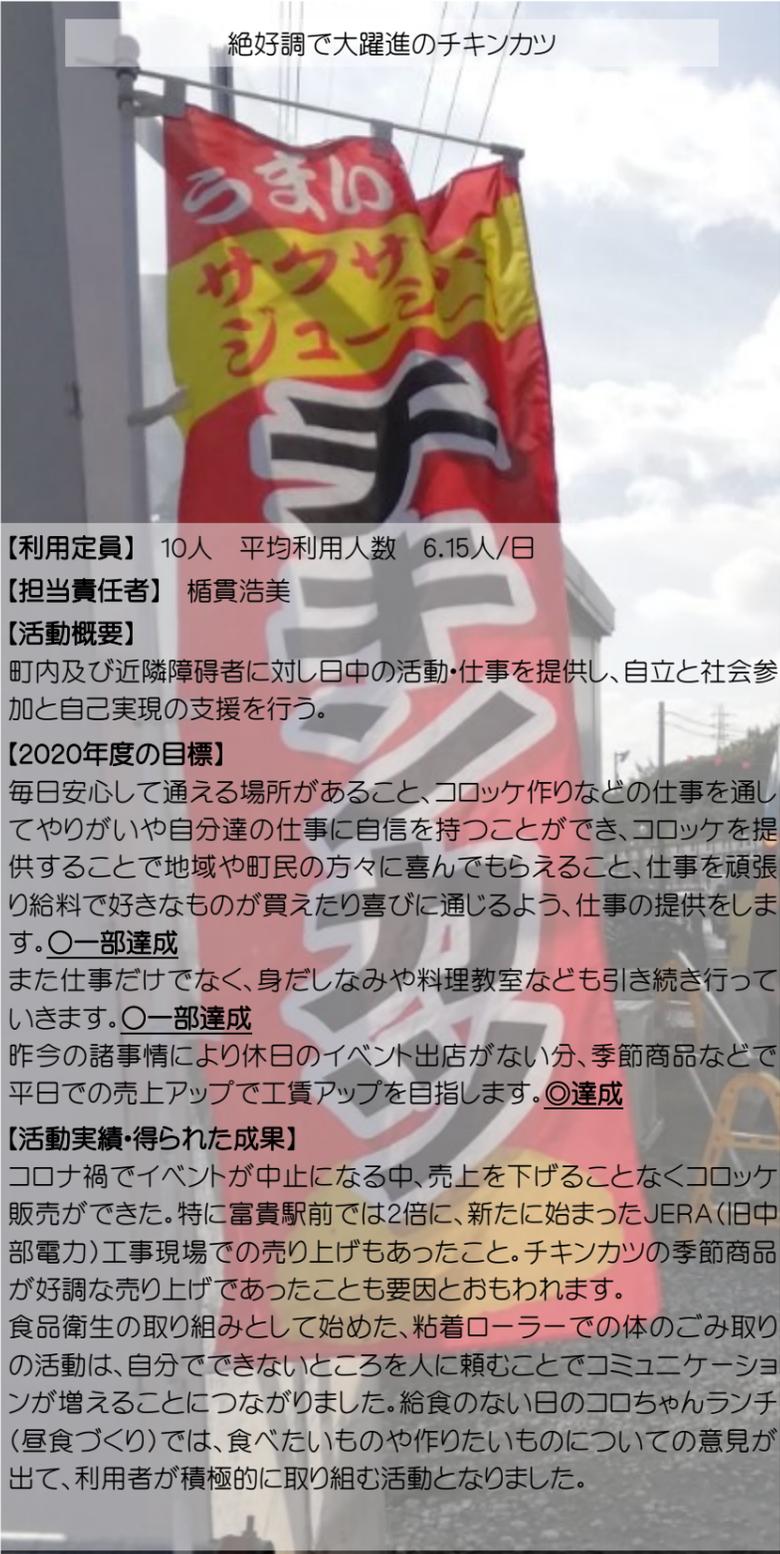
**短期(〜3か月)の成果**  
ひるじろうに慣れ、仕事をしながらの生活リズムができる。

**中期(〜1年)の成果**  
お金に関心が持てるようになる。目標工賃1万5千円/月の達成

**長期(〜3年)の成果**  
工賃だけでなく、仕事そのものにもやりがいや誇りが持てるようになる。目標工賃2万円/月の達成

**ゆめじろうのミッション**

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



**【利用定員】** 10人 平均利用人数 6.15人/日  
**【担当責任者】** 橋貴浩美  
**【活動概要】**  
町内及び近隣障害者に対し日中の活動・仕事を提供し、自立と社会参加と自己実現の支援を行う。  
**【2020年度の目標】**  
毎日安心して通える場所があること、コロッケ作りなどの仕事を通してやりがいや自分達の仕事に自信を持つことができ、コロッケを提供することで地域や町民の方々に喜んでもらえること、仕事を頑張り給料で好きなものが買えたり喜びに通じるよう、仕事の提供をします。○一部達成  
また仕事だけでなく、身だしなみや料理教室なども引き続き行っていきます。○一部達成  
昨今の諸事情により休日のイベント出店がない分、季節商品などで平日での売上アップで工賃アップを目指します。◎達成  
**【活動実績・得られた成果】**  
コロナ禍でイベントが中止になる中、売上を下げることなくコロッケ販売ができた。特に富貴駅前では2倍に、新たに始まったJERA(旧中部電力)工事現場での売り上げもあったこと。チキンカツの季節商品が好調な売り上げであったことも要因とおもわれます。  
食品衛生の取り組みとして始めた、粘着ローラーでの体のごみ取りの活動は、自分でできないところを人に頼むことでコミュニケーションが増えることにつながりました。給食のない日のコロちゃんランチ(昼食づくり)では、食べたいものや作りたいものについての意見が出て、利用者が積極的に取り組む活動となりました。

## 2021年度事業計画



あなたの街の信頼できるNPO 愛知県

グッドガバナンス認証25団体  
ベーシックガバナンスチェック154団体 2020年9月現在

全国33都道府県の評価結果公開中!

寄付をするならグッドガバナンス認証

基本の信頼

再評価機関評価センター(JCNE)とは?

〒165-0001 東京都港区赤坂1-11-2 日本財団ビル3階 03-6457-9221 info@jcne.or.jp

あなたの街の信頼できるNP02020年度版に掲載!

## こじろう (放課後等デイサービス)

**活動の想い**  
障害のある子どもたちの地域の中で健やかな成長と家族を応援したい！

**対象**  
町内在住の障害児(家族)

**活動内容**  
障害児の放課後と長期休暇の活動と居場所の提供。

**直接の結果**  
子：場所、人に慣れ落ち着いて過ごすことができる。親：自分の時間が持てることにより余裕ができる。子の家とは違う側面を知る。

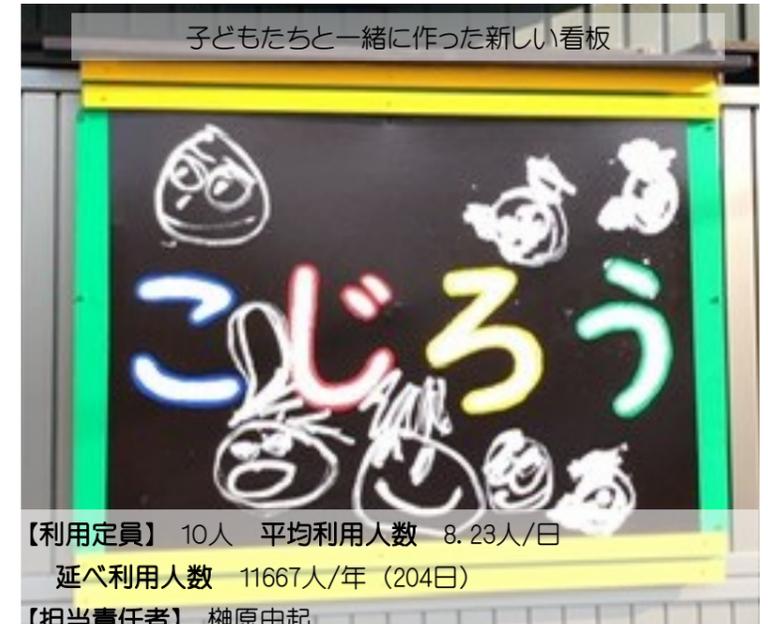
**短期(～3か月)の成果**  
子：こじろうに行くことが楽しみになる。親：安心して送り出すことができるようになる。

**中期(～1年)の成果**  
子：好き嫌いがはっきりして自分から活動を選択し参加できるようになる。親：スタッフと信頼関係ができる。

**長期(～3年)の成果**  
集団で過ごし、社会経験を積み上げることにより必要なルールが身に付きよい人間関係が保てるようになる。

**ゆめじろうのミッション**

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



【利用定員】 10人 平均利用人数 8.23人/日  
延べ利用人数 11667人/年(204日)  
【担当責任者】 榊原由起

**【活動概要】**

障害のある子どもたちが放課後や長期休暇を安全に楽しく過ごすための場所です。子どもたちが主体的に活動できることを目標にしています。

**【2020年度の目標】**

卒業後夕方自宅で過ごすことができる人を目指して、どんなことができたらいいいのか、何ができそうなのかを考えながら活動を組み立てる。△未達成

また地域の人たちにもこじろうのことをもっと知っていただくために積極的に街に繰り出す。○一部達成

**【活動実績・得られた成果】**

自宅で過ごすことのできる人(屋内活動)を目指すとしたものの、利用者の人数、スタッフの数のバランスの悪さでなかなか活動が組めませんでした。

地域貢献活動はできなかったが、地域の子どもたちは意外とこじろうのことを知っていてくれました。こじろうの利用者さんが迷子になった時、近くにいた大人に「こじろうの子だよ」と教えてくれた小学生がいました。これは地域の公園や小学校の校庭によく遊びに行っていたからだと思います。

「押し」  
命言葉は・・・少くがまんしたうらなひもまっしむるよー

## ⑥福祉移送ボランティア事業

**【根拠事業】** 自主事業 **【担当責任者】** 山本浩人  
**【事業概要】** 必要やむを得ない場合の車による移送  
**【事業実績】**  
 ほとんど実績はありませんでした。

## ⑦次世代育成事業（子育て支援事業）

**【根拠事業】** 自主事業  
**【担当責任者】** 瀧本智恵美  
**【事業概要】** 託児等を会員同士の助け合いで実施する。  
**【事業実績】**  
 実績はありませんでした。

## ⑧高齢者障害者に対する社会参加促進事業

### 喫茶「ゆめひろば」

直接の成果

町民がゆめひろばを利用し、  
 食事やお茶を飲みながら話を  
 する。

長期成果

町民会館に、食事をしたりお  
 茶を飲みながら仲間との交流  
 や出会いの場が確保される。

**【根拠事業】** 自主事業  
**【担当責任者】** 木村智子  
**【事業概要】**  
 食の安全を意識した手作りの食事、飲み物を提供しています。また、  
 住民の交流の場として快適な場所作りを大切にしています。  
**【2020年度の目標】**  
 新型異なウィルス感染症状況を見つつ、安全に注意をして営業を  
 行っていく。  
**【活動実績・得られた成果】** 概ね週6日営業  
 緊急事態宣言も出る中、営業自粛を余儀なくされる期間もありまし  
 たが、ひるじろうランチづくりは継続して行いました。収束の状況下  
 では通常営業を行うとともにイベントへの協力も行いました。

### 就労継続支援B

P12を参照 ひるじろうの活動の中で紹介。

### 監査報告書

特定非営利活動法人ゆめじろうの令和2年度の法人の業務執行及び財産管理に  
 関して、所属資料及び会計の帳簿を厳正に監査した結果、同年度の業務執行及  
 び財産管理並びに収支決算が適正であったことを確認したので報告します。

令和3年5月13日

監事 岩川佳弘

特定非営利活動法人ゆめじろう

理事長 出口 晋殿

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別紙明細書のとおりです。

### 3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	16,322,605	801,900		17,124,505	9,330,592	7,793,913
建物付属設備	11,378,081			11,378,081	9,543,642	1,834,439
構築物	687,607			687,607	637,726	49,881
車両運搬費	15,679,214			15,679,214	15,411,009	268,205
什器備品	5,756,200	316,052		6,072,252	5,686,164	386,088
合計	49,823,707	1,117,952	0	50,941,659	40,609,133	10,332,526

### 4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	0		0	0

### 5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(貸借対照表)		
役員借入金	0	0
貸借対照表計	0	0

## フリースペース事業

### 【事業概要】

事業所のいろいろなスペースを利用して、地域の方が立ち寄り、ボランティアとして参加いただいたりする事業を提供しています。「こんな事ができるといいなあ。」や「こんなことで困っている。」「このくらいの手伝いはできるわよ。」などの声を大切にいろいろな活動を少しずつ行っています。

## ゆめじろう茶屋 自主事業

### 活動の想い

地域で孤立することがないように住民同士のつながりを大切にする居場所を作りたい！

### 【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 小藤あけみ

### 【事業概要】

年齢・性別・国籍問わず気軽に参加しています。

情報交換や物々交換、新しいつながりなど「つどい・つながる」場所です。

### 【2020年度の目標】

コロナウイルス感染症の終息を待って実施「おしゃべりサロン」と「さをり織り」は継続して実施する。その他の事業は継続について検討をする。 **×未達成**

### 【活動実績・得られた成果】

コロナウイルスの感染予防のため、感染リスクの高い高齢者の集まりさをりなどは中止となりました。

対象  
町民

### 活動内容

地域住民が気軽に集える場所と活動の提供をする。

### 直接の結果

地域住民が日常的に茶屋に集い活動に参加する。

### 短期の成果

茶屋に集う者同士の交流が生まれ、新たな関係ができる。

### 長期の成果

茶屋を活用して地域住民の支えあいの活動が展開される。

### ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。

**未実施**

## ⑨ 地域福祉啓発・研修事業

【根拠事業】 自主事業

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】

高齢者福祉および障害者福祉にかかわらず地域福祉に関わる活動やイベント等を開催しています。毎年9月の第1土曜日に行っている夏祭り(平成28年度からは龍宮まつり)、日本福祉大学と協働で実施するサービスマーケティング、武豊町との協働事業で始まったきのこプロジェクト、フードバンクちたの他、ゆめじろうくん(着ぐるみ)やコロッケカーによる地域イベントへの参加など多岐に及びます。平成30年度は、武豊町提案型協働事業を活用し子どもの居場所を考える『たけのこプロジェクト』を行いました。

### たけのこプロジェクト (武豊町提案型協働事業)

活動の想い

美味しい顔と時間を共有することで困ったときにSOSが出せたり助け合える関係と地域力を作りたい。

活動内容

月に1回、地域住民が集まり一緒にカレーを食べる機会を作り美味しい顔と時間の共有をすることで

直接の結果

地域住民と一緒に食事をするので顔がつながる。

短期の成果

顔がつながり名前も覚え、気軽に声掛けられる関係になる。

長期の成果

困ったときにSOSが出せたり、助け合える関係ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。

【根拠事業】 武豊町提案型協働事業

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】

子どもから大人まで困ったことがあったときに、地域で解決ができるよう、一緒に美味しい顔と時間を共有することでSOSが出せたり助け合える関係づくりをする。

【2020年度の目標】

コロナウイルス感染症の終息を待ち、月々カレーを再開し、地域住民とゆめじろうの並列のつながりづくりを進めていきます。

×未達成

【活動内容・得られた成果】

集まるのが難しい中、実施することができませんでした。つながりを目的と実施している途上であったため、それによる大きな影響はありませんでした。参加者とは、まちで出会った際声を掛け合うことができました。

未実施

顧問料	27,000		
諸会費	6,800		
研修費	195,768		
食材費	998,778		
保守料	1,433,671		
寄付金	0		
診療費	180,000		
雑費	0		
減価償却費	1,506,612		
その他経費計	32,887,965		
事業費計		162,554,915	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,462,996		
福利厚生費	3,043		
人件費計	2,466,039		
(2) その他経費			
広告宣伝費	162,360		
旅費交通費	56,490		
接待交際費	4,500		
備品消耗品費	213,312		
通信費	96,816		
水道光熱費	90,515		
消耗品費	18,980		
書籍費	7,330		
賃借料	0		
修繕費	266,511		
保険料	696,280		
支払手数料	378,235		
顧問料	528,000		
諸会費	104,900		
研修費	201,504		
保守料	168,000		
寄付金	5,500		
警備費	482,640		
診療費	60,000		
雑費	342		
減価償却費	92,851		
その他経費計	3,635,066		
管理費計		6,101,105	
経常費用計			168,656,020
税引前当期正味財産増減額			△ 1,379,150
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			△ 1,450,150
前期繰越正味財産額			58,404,190
次期繰越正味財産額			56,954,040

### 活動計算書

令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
受取会費	730,000	730,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	465,002	465,002
3. 受取助成金等		
受取助成金	4,291,751	4,291,751
4. 事業収益		
自主事業収益	161,577,947	161,577,947
5. その他収益		
受取利息	138	
雑収入	212,032	212,170
<b>経常収益計</b>		<b>167,276,870</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	111,795,058	
法定福利費	15,161,119	
福利厚生費	2,710,773	
<b>人件費計</b>	<b>129,666,950</b>	
(2) その他経費		
食材仕入	3,191,273	
役務費	1,755,960	
広告宣伝費	0	
旅費交通費	2,501,705	
接待交際費	11,000	
備品消耗品費	720,456	
通信費	1,136,152	
水道光熱費	2,885,636	
租税公課	101,800	
消耗品費	4,638,202	
書籍費	93,420	
賃借料	9,320,388	
修繕費	48,690	
保険料	1,616,235	
支払手数料	518,419	

## ゆめじろうくん・コロツケカーの出動(自主事業)

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

啓発活動の一環としてキッチンカーの出動やゆめじろうくんがイベントに参加したりしています。

【2020年度の目標】

コロツケカー出動:コロナウィルス感染症の終息を待ち、地域イベントへの出店を行います。また、この間を利用して、火曜日夕方の定例販売の機会を活用し出店に対応できるスタッフの育成を行います。 **◎達成!**

【活動内容・得られた成果】

イベントでの出店は、コロナウィルス感染症の影響もあり1件でしたが予想をはるかに上回る売り上げがありました。

一方、販売スタッフ2名、販売ボランティア1名の獲得ほか、通常出店を継続する中で2名の販売スタッフの育成ができました。

## ゆめたろうスマイルマラソン応援(自主事業)

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

平成25年度からは、「一緒に走ろう」という参加型の活動から転じ、「みんなで応援しよう」という町のイベントを地域住民と一緒に応援し盛り上げる活動を行っています。

【2020年度の目標】

ゆめたろうスマイルマラソン応援団:コロナウィルス感染症が終息し実施できる場合に備え、スマイルマラソン実行委員会とも連携し準備を進めます。協働事業の「ハイタッチランニング」企画とのコラボで、ハイタッチ(応援ゾーン)を設けるなどの企画提案も行っています。 **×未達成**

【活動内容・得られた成果】

スマイルマラソン自体が中止となり、活動は行いませんでした。

未実施

## フードバンクプロジェクト (自主事業)

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口佳江

【事業概要】

セカンドハーベスト名古屋、サポート知多、日本福祉大学、常滑市社会福祉協議会と協力し、大規模ショッピングセンターや食品会社などからまだ食べられるのに捨てられてしまう食品をもらい受け、生活困窮者など必要としている人たちに届ける活動です。

【2020年度の目標】

引き続き生活困窮者の方や必要としている団体に必要な食品をお届けします。フードバンクの仕組みが継続されるよう、セカンドハーベスト名古屋への金銭的な支援についても積極的に行っていきます。昨年作成したマニュアルをもとに、団体内での問題の共有についても進めていきます。 **〇概ね達成**

【事業内容・得られた成果】

コロナの影響を受けることなく実施することができました。コロナ禍で食糧支援の必要な人がいると思われるが、その把握が十分にできませんでした。そのような状況の中、住民の人からの食料提供も複数ありました。

## サービスラーニング (日本福祉大学との協働事業)

【根拠事業】日本福祉大学との協働事業

【担当責任者】出口 晋、西川百合

【事業概要】

地域福祉サポートちたを通じて実施する日本福祉大学との協働事業。「フィールド実践演習」という科目の中で実施され、NPO法人の活動を通して実習することで、学生の「市民性」を育み、自らの意思をもって関わっていく力を養っていくことを目的としています。

【2020年度の目標】

学生が市民活動や福祉事業の実態を知る入口として、学びの場を提供するとともに、第3者に団体の活動や社会課題の解決の実践を伝える方法の学びの場とする。今年度はコロナウィルス感染症の影響も踏まえ、実施期間に幅を持たせ実施可能な形での実施の形をとります。 **〇概ね達成**

【事業内容・得られた成果】

コロナ禍で現場での実習はできなかったが学生とZoomや電話などでのやり取りをしながらなんとか実施することができました。しかし、いつもと違う状況の中で最後まで続けられなかった学生もいました。

## 令和2年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和03年3月31日現在

特定非営利活動法人 ゆめじろう

科 目・摘 要		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金			
現金	現金手許有高	477,174	
普通預金	UFJ銀行・武豊支店	1,856,121	
	富貴郵便局 4口	6,321,788	
	東海労働金庫・半田支店	197,833	
未収入金	03年2、3月分支援費・介護保険他	25,004,027	
仮払金	喫茶つり銭他	127,000	
前払費用	リサイクル料	55,090	
弁当等仮払金	3月分弁当代	49,246	
	流動資産合計		34,088,279
<b>2 固定資産</b>			
建 物	事業所改築費用5件	7,447,261	
	倉庫	346,652	
建物附属設備	給排水衛生ガス設備他	1,834,439	
構 築 物	境界フェンス他	49,881	
車輦運搬具	ファンカーゴ(現物寄付)	1	
	NV200バネット(現物寄付)	268,197	
	その他コロケカー他	7	
什器備品	ウインドウズサーバー他	386,088	
電話加入権	72-2963	22,000	
保証金	敷金(井田君子)	70,000	
	サンワテクノ(株)	500,000	
	エネチタ	40,000	
保険積立金	プルデンシャル生保	25,512,682	
繰延資産	下水道受益者負担金	0	
	固定資産合計		36,477,208
	資産合計		70,565,487
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
預り金	03年1~3月分源泉所得税	637,905	
	社会保険料	898,281	
未払金	03年3月分人件費	8,711,071	
	03年3月分工賃	83,620	
	03年3月分法定福利費	1,836,527	
	03年3月分通勤費	230,440	
	その他光熱費代他	1,142,603	
未払法人税等	当年度法人税及び法人市県民税	71,000	
	流動負債合計		13,611,447
	負債合計		13,611,447
	正味財産		56,954,040

令和2年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

令和03年3月31日現在

特定非営利活動法人 ゆめじろう

科 目・摘 要	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	8,852,916	
未収入金	25,004,027	
仮払金	127,000	
前払費用	55,090	
弁当等仮払金	49,246	
流動資産合計		34,088,279
2 固定資産		
建物	7,793,913	
建物附属設備	1,834,439	
構築物	49,881	
車輛運搬具	268,205	
什器備品	386,088	
電話加入権	22,000	
保証金	610,000	
保険積立金	25,512,682	
繰延資産	0	
固定資産合計		36,477,208
資産合計		70,565,487
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
預り金	1,536,186	
未払金	12,004,261	
未払法人税等	71,000	
流動負債合計	0	13,611,447
負債合計		13,611,447
2 正味財産の部		
前期繰越正味財産		58,404,190
当期正味財産増加額		△ 1,450,150
正味財産合計		56,954,040
負債及び正味財産合計		70,565,487

きのこプロジェクト (武豊町提案型協働事業自主事業)

【根拠事業】 自主事業(前:提案型協働事業)

【担当責任者】 出口 晋

【事業概要】

自然公園一帯の活性化活動

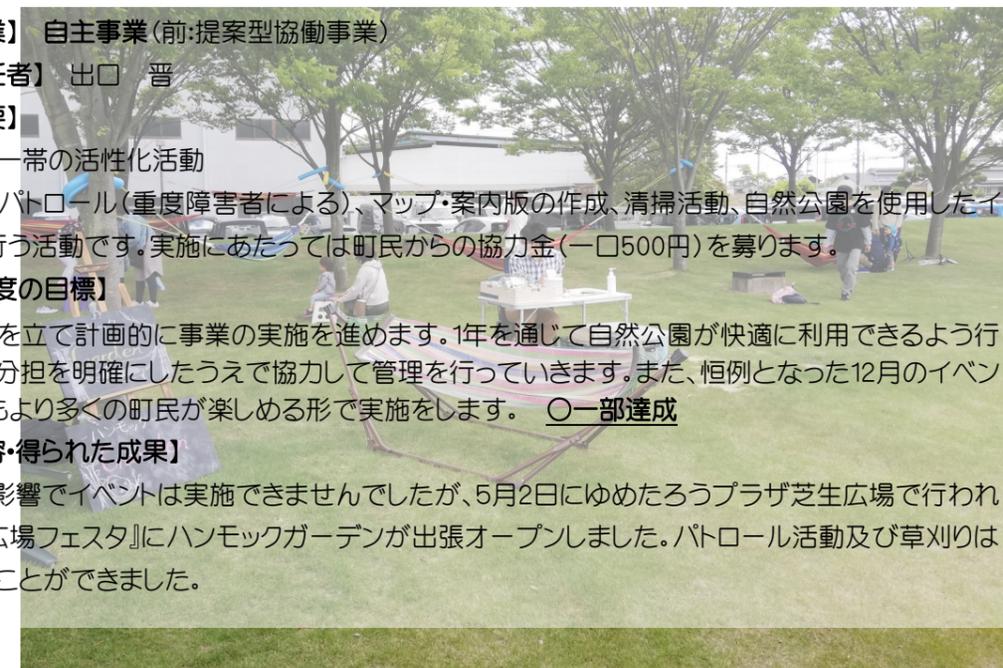
自然公園パトロール(重度障害者による)、マップ・案内版の作成、清掃活動、自然公園を使用したイベントを行う活動です。実施にあたっては町民からの協力金(一口500円)を募ります。

【2020年度の目標】

年間予定を立て計画的に事業の実施を進めます。1年を通じて自然公園が快適に利用できるよう行政と役割分担を明確にしたうえで協力して管理を行っていきます。また、恒例となった12月のイベントについてもより多くの町民が楽しめる形で実施をします。 **○一部達成**

【活動内容・得られた成果】

コロナの影響でイベントは実施できませんでしたが、5月2日にゆめたろうプラザ芝生広場で行われた『芝生広場フェスタ』にハンモックガーデンが出張オープンしました。パトロール活動及び草刈りは実施することができました。



龍宮まつり

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】出口 晋

【事業概要】

盆踊りや運動会など地域のイベントがすくなってきた富貴地区において地域の人が参加しつながらあえるお祭りの開催。

【2020年度の目標】

龍宮まつり:コロナウィルス感染症終息のめどが立たない中、今年度の実施については難しいですが、次年度実施に向けて地域関係者との協議の場を持ち準備を行っていきます。 **×未実施**

【活動内容・得られた成果】

コロナウィルス感染症が収束を見せない中、実施及び地域関係者との協議の場も持つことができませんでした。

未実施

## ゆめにてい

【根拠事業】自主事業

【担当責任者】西川百合

【事業概要】

昨今地域力の低下が言われる中、ゆめじろうが地域の中で果たす役割について話し合っています。プロジェクトとして始動する前には「困った人発見隊」という名で活動してきました。ゆめじろうを知ってもらい、困った時に相談できる場所や人とのつながりがあることで、少しでも安心して生活ができるのではないかと考え、手始めとして「市」を開くことにしました。

【2019年度の目標】

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、現時点での開催の見通しは立てられずにいますが、これまでの開催でつながった人との関わりを大切にしながら、「ゆめ市」がもつ本来の目的を達成できるように、まずは「ゆめじろうのことを多くの人に知ってもらい」「ゆめじろうへいろんな人に足を運んでもらう」を実現できるように、開催できる日がくることを願って準備をすすめています。 ×未実施

【活動内容・得られた成果】

実施することはできませんでした。

未実施

## ⑩短期介護事業(ショートステイ)事業

【根拠事業】自主事業・地域生活支援拠点(体験的宿泊・緊急一時的宿泊)

【担当責任者】山田祐輔

【事業概要】

本人及び家族の緊急時の宿泊支援及び将来へ向けての宿泊体験の場と機会の提供を行う。

【2020年度の目標】

体験宿泊についてはレスパイト目的での利用ができない現状で、重度の方を十分に支えるショートステイが地域にないため、体験的宿泊の在り方を南部3町と協議会で検討していく。◎達成!  
感染症などが広がってきた際には、利用者の安全を最優先し利用の制限も検討しながら実施していく。緊急時は予測できないことだが、利用者様・家族に安心して使っていただけるよう、継続的に受け入れ体制を整えていく。○一部達成

【活動内容・得られた成果】

協議会の社会資源開発部会(地域生活支援拠点ワーキンググループ)において、事業者が積極的に事業を実施できるようサービス単価の見直し作業を3町行政担当者と共に行った。

一方、ゆめじろうにおける各種サービス利用者に対して、地域生活線拠点事業の周知と利用意向アンケートを実施した。その際、地域全体として本事業が実施されていくよう、利用ルールの周知と他事業所への勧奨も行った。

当事業所内で安定的に事業が実施できるよう、スタッフへ向けての協力要請と説明他、体制整備を行い、コロナ禍においても体験的宿泊事業をサンワコーポとひるじろうで計3回(3泊6日)実施することができた。

## ⑪障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

### 居住サポートいえじろう(共同生活援助)

活動の想い  
障害のある人の親から離れて暮らす挑戦を応援したい!

対象  
町内在住の障害者

活動内容  
障害者のための家庭的で社会とのつながりのある住まいの提供。

直接の結果  
グループホームでの生活を始めるとともに地域行事への参加、ボランティアの方との交流会に参加し始める。

短期(~3か月)の成果  
グループホームでの生活に慣れ、地域の方やボランティアの方との交流にも慣れる。

中期(~1年)の成果  
グループホームを利用する日が増え、ボランティアの方と一緒に過ごすことができる。

長期(~3年)の成果  
安定した生活をグループホームで送る。地域の方に存在を知ってもらう。ボランティアの方と一緒に外出ができる。

ゆめじろうのミッション

住み慣れたまちで自分らしさを大切にしながら暮らし続ける社会の実現。



コロナ禍の楽しみ、ステイホームでバーベキュー

【根拠事業】共同生活援助 定員8人

【担当責任者】山本浩人

【活動概要】

利用者さんが「ただいま」と安心して帰宅できるお家です。障がいのある方が地域の中で自分らしく生活が送られるようサポートしています。

【2020年度活動目標】

- 1.定員8名に対して利用者数7名という状態が続いているので、利用者募集を行う。 ◎達成!
- 2.地域生活支援拠点事業の利用者数増加 ○一部達成

【活動内容・得られた成果】

延べ利用者数2200人/年

新規利用者が2020年11月より体験利用を開始し、徐々に日数を増やし2月から本格利用となり8名となりました。土日の利用をされる利用者の人数が増加したことにより、昨年度に比べ数字が増加しました。目標にあげていた地域生活支援拠点については、新型コロナウイルスによる利用お断りを行っていたこともあり、実績は伸びず結果的に2名(5日)となりました。

新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつも、地域生活支援拠点の機能強化のため、障害関係部署で開催する地域生活支援センター会議にて受け入れと体制づくりについて検討を行いました。



近所関係良好なホーム!

緑区民として生活しています。